平成 19 年 12 月 19 日

中部飼料株式会社

平成 20 年 1～3 月期の畜産配合飼料販売価格のお知らせ

平成 20 年 1～3 月期の畜産配合飼料販売価格については、以下の飼料原料・外国為替情勢などを踏まえ、平成 19 年 10～12 月期に対し、全畜種平均トン当たり約 4,225 円値上げすることを決定いたしました。
なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

飼料穀物
とうもろこしのシカゴ定期は史上最高の生産量（131 億ブッシェル）にもかかわらずエタノール需要、ヨーロッパと豪州の旱魃による穀物不作の影響から米国産穀物への需要が高まり高値で推移しております。1－3 月期とうもろこし価格は 10－12 月期比、約 40 ドルの上昇が見込まれます。

蛋白原料
バイオディーゼルの需要増および在庫率の低さから米国大豆が高値で推移しております。インド産大豆の豊作にもかかわらず東南アジアの需要が集中しインド産大豆粕は高値基調にあります。米国産大豆粕価格は 10 月 $270 台、11 月 $290 台 さらに 12 月に入り$300 台と高値で推移しております。1－3 月期の大豆粕価格は 10－12 月期比、大幅な上昇が見込まれます。

海上運賃
米国ガルフ－日本のパナマックス型海上運賃は、中国の鉄鉱石輸入量は１－10 月、前年比 117%　と旺盛な需要が下支えとなり強基調となっております。9 月＄100 台、10 月に＄110 台、11 月以降は$120 台で推移しております。

外国為替
1－3 月期の外国為替は 10－12 月期比対ドルにおいてサブプライムローンに端を発した米国の景気減速懸念からドル安、円高傾向に推移し 110 円と予想しております。

＊　お問合せ先
中部飼料株式会社　　経営企画部（田中）　　ＴＥＬ：0562-33-2103

以上